



台風後の水稲管理について



～ 圃場を見回ってください！～

稲が倒伏しているところでは？

ヒノヒカリのように収穫（10月中旬）までしばらくある場合、稲が倒れていても引き起こせば収穫が望めるので、可能な限り起こし、草勢の回復を図りましょう。

- ★収穫間際のもの（ひとめぼれ、つや姫 等）は、できるだけ早く収穫しましょう！
→穂発芽が発生すると、著しく品質が低下します。速やかに収穫してください。
- ★収穫時には倒伏程度に応じて刈り分けを行ってください！
→被害粒の混入を減らすことで、検査等級の低下を防ぐことができます。

圃場内の異物を取り除きましょう！

- ①稲穂にゴミ等が被さっているようなところがあります。
→そのままにしておくと登熟が悪くなります。速やかに取り除きましょう。
- ②圃場内に大きな異物（ゴミ、木片等）が入っている場合があります。
→コンバイン収穫の妨げ（故障原因）になります。よく見回り、取り除いてください。
また、取り除ききれないものもあるので、「コンバインの刈高さ」は「高く」設定し、なるべく高刈りするようしてください。

畦畔が崩落しているところは注意してください！

- さらに崩落する危険性があります。十分注意してください。**
→収穫の際には十分注意し、コンバインを使用してください。
(コンバイン収穫が難しい部分は、手刈り等で対応しましょう)

病害虫の発生に注意してください！

- この時期、ウンカの発生がひどくなる場合があります。**
→倒伏、半倒伏している所では発生に特に注意し、必要に応じて防除してください。
★薬剤の例・・・スタークル粉剤、液剤等（収穫7日前まで使用できます）

共済へは被害申告後、評価員の審査が必要です！

30%以上の減収が見込まれる場合は、共済の対象になります。
収穫の一週間前までに共済組合または共済部長へ申告し、現地確認を受けましょう。